

# BeJOY会（美女医会）



## 女性医師の環境問題

湘南鎌倉総合病院 女性医師の会(Be JOY)会は、12年前に発足し、1年に2回のミーティングを行っています。12年前の発足時は、参加者は4~5人、今や女性医師は8倍ぐらいに増えました。私が所属する形成外科学会でも「女性医師ワーキンググループ」という組織を発足し、私も委員として参加、2015年からは総会時にメンター（上級医師）・メンティー（下級医師）の相談会を行っています。日本の医療現場は慢性的な医師不足で、その解決策としては、女性医師が現場で活躍する事が必要です。女性が働く環境を作ることは、医師の世界に限らない国家レベルで取り組むべく大きな仕事だと思います。

Be JOY会では、女性医師の勤務状況や勤務設備の改善、上級医師から下級医師へのアドバイスなど話し合いを行ってきました。新病院設立前のミーティングでは意見を聞き、女性医師の更衣室や当直室を図面に入れてもらうことを交渉し、狭いながらもリラックスできる空間を確保することができました。

現在では、あることが当たり前のように思われていますが、ほんの10年前は、女性医師のための更衣室も当直室もありませんでした。体調が悪い時や帰れない時は、狭い外来のベッドやストレッチャーの上、パイプイス3つをつなげての休息や仮眠もよくあることでした。私自身も大学病院時代から、ずっとそんな環境で過ごしてきたので、我慢することが女

性の美学だと思っていました。しかし、セクハラやパワハラなどが表に出るようになってからは、最低限の主張は後輩医師たちのためにも必要なことだと思います。Be JOY会を作り、意見をできるようになりました。小さな希望ですが、現院長にご理解いただき、ハードの面では過ごしやすい環境になってきたと思っています。どんな女性医師でも仕事が安心してできる環境作りのために、さらには女性医師のキャリアアップ継続のためのママドクターの応援のためにBe JOY会は活動していきたいと考えています。

## 女性医師の昇進問題

医療の世界もそうですが、ほとんどの仕事がまだまだ男尊女卑の現状です。ここ最近、各調査期間から女性医師へのアンケート調査が多く行われています。最近届いたのは「女性医師の昇進に関する調査」です。女性医師を取り巻く問題として、妊娠・出産・育児と診療業務との両立は重要な課題となっています。昇進を考えて仕事をしている人は、女性医師には少ないでしょう。実際の医療現場においては、女性医師がいなければ成り立たない現状です。女性医師が診療業務を円滑に行うには、個人の努力、夫や両親の理解と協力、医療現場での保育施設併設などの現実的な支援体制の設備完備および病院側の理解が必要になります。仕事との両立を図れたとしても実際には仕事の責務を十分にできない自責の念、仕事のペースダウンを余儀なくされる焦り、また自分の子供とのスキンシップの制限、これに夫の協力が得られない場合に起こる苛立ちやあせり、抱えている問題は多くあります。また、男性と同等、それ以上に働いていても、ステップアップに疑問を持っている人も多いと思います。最近の医師国家試験合格者に占める女性の割合は3割を超えるのですが、大学

附属病院の教授，准教授に占める女性の割合は，精神科，皮膚科，眼科を除くと1割には到達していません。今後の女性医師の管理職クラスへの昇進は，徐々に増加することは予想されますが，いまだに多くの若い女性医師は所属施設でロールモデルに出会えていない状況のようです。医師をしていて一番の目標は，仕事ができるスマートな医師になることですが，パーソナルライフの充実もかせません。それにはキャリアアップは必要ないのかもしれませんが，女性は男性と違って称号や人事力を得たいと思っている人は，争いを好まない女性遺伝子的にも少ないでしょう。与えてもらえれば嬉しいでしょうが，人から奪うことは苦手です。医師の仕事は，自分の腕で生き死にかかわる過激なストレス社会です。医師としての自分の価値を見出せるかどうか，仕事に対する考え方はみな違いますが，与えられる仕事だけで，おなかいっぱいにならずに，つまらないことでもやらなくてはいけないこともあります。常に前向きに自己のステップアップを目指したいものです。

さて，男性医師が公の場である医局で，下着ひとつになって着替えをする。とんでもない世の中になったと思っていましたが，最近では薄着でソファに寝こんでいる女性医師をよく見かけます。ガードに低さには驚きますが，疲れていても周りにはいる男性医師の目を気にするべきです。自分は自分で守ることが原則，女性という立場にあぐらをかかず，魅力ある女性医師を目指して！

医師の男女比 2012年

診療科目	女性医師率
総計	19.6%
皮膚科	44.3%
眼科	37.5%
麻酔科	36.8%
小児科	33.7%
産婦人科	31.5%
形成・美容外科	25.9%
放射線科	23.0%
リハビリ科	21.5%
精神科	21.3%
耳鼻咽喉科	20.0%
内科	16.4%
救急科	11.5%
外科	7.1%
泌尿器科	5.0%
脳神経外科	4.9%
整形外科	4.4%